

環境白書の刊行にあたって

福岡県では、県民一人一人が、この県に生まれて良かった、生活して良かったと実感できる「県民幸福度日本一」を目指しています。

環境と調和し、快適に暮らせることは、県民の幸福度を高める大きな柱の一つです。

環境問題は、廃棄物の不適正処理、地域固有の生き物の減少など身近な問題から越境大気汚染や地球温暖化など地球規模の問題まで多岐にわたります。さらに、東日本大震災以降、電力の需給ひっ迫問題や放射性物質の拡散などの社会問題も発生しています。

このような中、福岡県では、本年3月に第三次福岡県環境総合基本計画「福岡県環境総合ビジョン」を策定しました。この計画では、環境と調和し成長する社会を未来へつなぐため、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入などに取り組む「低炭素社会の構築」など重点的に取り組む7つの柱を設定し、柱ごとに福岡県の環境の現状・課題や施策の方向、みんなで目指す10年後の姿を明示し、総合的に取り組みを進めています。

また、個別の分野についても、本県初めての自然環境分野に関する基本計画となる「福岡県生物多様性戦略」に基づく生物多様性の保全、再生のための総合的な対策や、県民の安全・安心を確保する上で喫緊の課題となっている廃棄物処理事案に対応するため、本年4月に設置した「廃棄物適正処理推進室」における、迅速かつ集中的な対応などの取り組みを進めています。

将来にわたって豊かな自然や美しいまちを引き継いでいくことは、私たちの重要な責務です。そのためには、私たち一人一人が環境に関する認識を深め、自らの行動を環境に配慮したものへと変えていくことが大切です。

この環境白書を、多くの皆さんに活用していただくことで、環境問題に対する認識が深まり、地域の魅力向上につながる環境保全活動の輪がさらに広がっていくことを期待しています。



平成25年12月

福岡県知事 小川 洋

第1部 総説

第1章 福岡県のすがた	1
第2章 福岡県の環境の現状と取組のあらまし	2
環境の現状と主な取組	2
知ってほしい取組	6
市町村の取組	
北九州市	6
福岡市、大牟田市	7
久留米市、田川市	8
那珂川町、芦屋町	9
福岡県の取組	
地域における生物多様性保全の推進	10
森林環境税を活用した取組	11
微小粒子状物質(PM _{2.5})に係る本県の対応	12
浄化槽整備の推進	13
廃棄物適正処理推進室を設置	14
リサイクル総合研究事業化センターの最新の取組	15
日々の生活における3R活動の推進	16
福岡県地域エネルギー政策研究会、県営ダムの放流水を活用した小水力発電	17
アジア自治体間環境協力推進事業の展開	18
第3章 福岡県環境総合ビジョン	19
1 位置付けと役割	20
2 将来像と施策体系	20
3 指標	22
4 推進体制・進行管理	23

第2部 環境の現況と対策

第1章 福岡県環境総合基本計画の推進	25
第2章 自然環境の現況と保全対策	26
第1節 自然環境の現況	26
1 地形	26
2 気候	26
3 植生	26
4 動物	26
第2節 生物多様性の保全対策	28
1 生物多様性の保全	28
2 福岡県レッドデータブックの見直し	28
3 外来生物への対応	29
第3節 鳥獣保護	30
1 鳥獣保護の現況	30
2 鳥獣保護事業	30
3 狩猟の適正化	31
第4節 自然公園	32
1 現況	32
2 自然公園の保護対策	32
3 九州自然歩道	32
第5節 自然環境の保全対策	34
1 地域指定による保全	34
2 自然環境に配慮した県の公共事業の推進	35

3 開発行為の規制	35
第6節 森林保護・緑化の推進	36
1 森林保護	36
2 緑化の推進	37
3 森林環境税を活用した取組	38
第7節 自然保護意識の醸成	39
1 環境ものさしの作成	39
2 平尾台自然観察センター	39
第8節 温泉	40
1 温泉の保護と利用	40
2 可燃性天然ガスによる災害の防止	40
第3章 生活環境の現況と対策	41
第1節 大気汚染	41
1 大気汚染の現況	41
2 大気汚染防止対策	48
第2節 水質汚濁	55
1 水質汚濁の現況	55
2 水質汚濁防止対策	60
第3節 騒音・振動	64
1 騒音・振動の現況	64
2 騒音・振動防止対策	67
第4節 悪臭	69
1 悪臭の現況	69
2 悪臭防止対策	69
第5節 地盤沈下	71
1 地盤沈下の現況	71
2 地盤沈下対策	71
第6節 土壌汚染対策	73
1 市街地等土壌汚染対策	73
2 農用地土壌汚染の現況	74
3 農用地土壌汚染対策	74
第7節 化学物質対策	75
1 化学物質による新たな環境問題	75
2 ダイオキシン類問題	75
3 P R T R 制度	81
第8節 その他の課題	84
1 農業流通の動向と安全対策	84
2 畜産経営環境保全の現状と対策	85
3 学校に及ぼす公害の状況と対策	86
4 環境放射線等のモニタリング	87
第4章 廃棄物の現況と循環型社会に向けた取組	88
第1節 福岡県廃棄物処理計画の推進	88
第2節 一般廃棄物	89
1 一般廃棄物に関する法律等の整備	89
2 一般廃棄物の処理状況	89
3 一般廃棄物の処理対策	90
4 浄化槽行政の総合的な推進	96
第3節 産業廃棄物	98
1 全国における産業廃棄物の状況	98
2 福岡県における産業廃棄物の状況	99
3 産業廃棄物処理施設の設置許可状況	101
4 産業廃棄物処理業の許可状況	101

5	産業廃棄物の処理対策	102
第4節	循環型社会形成の推進	106
1	資源の有効利用の推進	106
2	廃棄物のリサイクル	106
3	リサイクルの推進に向けた取組	113
4	エコタウン事業の推進	118
5	レアメタルリサイクル推進事業	118
6	炭素繊維リサイクル推進事業	119
第5章	快適環境の保全と創造	120
第1節	都市計画	120
1	計画的な土地利用の策定	120
2	都市施設の適切な配置	120
3	市街地の面的整備	120
4	美しいまちづくりの推進	120
5	広域景観のルールづくり	121
第2節	都市公園の整備	122
第3節	水道の整備	123
1	水道の現状	123
2	水道の広域化の現状	123
3	これからの水道整備	124
4	地震等の緊急時への対応	124
第4節	下水道の整備	125
1	流域下水道の整備	125
2	公共下水道の整備	126
第5節	海岸・河川環境整備	128
1	海岸	128
2	漁港	128
3	河川	128
第6章	地球環境問題に対する県の取組	130
第1節	地球温暖化対策	130
1	福岡県地球温暖化対策推進計画	130
2	福岡県地球温暖化防止活動推進センター	132
3	福岡県地球温暖化防止活動推進員	132
4	福岡県省エネルギー推進会議	132
5	ふくおか省エネ・節電県民運動	133
6	エコライフ促進事業	133
7	エコファミリー応援事業	133
8	エコ事業所応援事業	134
9	福岡県環境保全実行計画	134
第2節	再生可能エネルギーの導入促進	136
1	現状と課題	136
2	福岡県における再生可能エネルギーの導入状況	136
3	再生可能エネルギーの普及に向けた取組	137
第3節	国際協力の推進	139
1	アジア自治体間環境協力	139
2	国連ハビタット福岡本部運営支援事業	140
第7章	総合的な環境保全対策の推進	141
第1節	環境行動の実践・啓発	141
1	福岡県環境県民会議	141
2	環境教育・環境学習の推進	141
3	環境情報の整備・提供	142

4	子どもエコクラブ事業	142
5	地域環境啓発事業の推進	142
6	環境月間	142
7	グリーン購入の取組	143
8	福岡県環境保全施設等整備資金融資制度	144
第2節	環境影響評価の推進	145
1	法律に基づく環境影響評価	145
2	条例に基づく環境影響評価	145
3	要綱に基づく環境影響評価	145
第3節	公害防止対策	147
1	公害防止計画	147
2	公害防止管理者制度	148
3	公害紛争処理・公害苦情処理	148
第4節	試験研究機関の取組	150
1	微小粒子状物質（PM _{2.5} ）への取組	150
2	ケイ素の沿岸海域への影響の解明	150
3	オニバス再生支援事業	151
第8章	福岡県環境総合基本計画（第二次）の総括	152
1	計画指標（目標）の達成状況の概要	153
2	テーマごとの進捗と今後の対応	154

第3部 資料

1	環境・公害関係年表	177
2	環境行政の推進体制	188
3	環境部門関係予算	192
4	環境関連各種計画概要	193
5	市町村の環境行政	195
6	環境関連法律・条例一覧	201
7	県の環境関連施設	205
8	附属機関等委員名簿	207
9	大気関係資料	213
10	水質関係資料	215
11	騒音・振動関係資料	259
12	土壌関係資料	265
13	ダイオキシン類関係資料	267
14	環境保全に関する調査研究	268
	環境についてのお問い合わせ先	269
	索引	270

コラム

OECDグリーンシティ・プログラム（北九州市）	135
-------------------------	-----

《用語の解説について》

本文中、印のある用語については、当該ページ下欄で解説しています。

《根拠法令について》

各項目の下部に〔 〕書きで当該施策の根拠となる法令（略称）を記載しています。

